

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 30 日	
宮崎県知事 殿	
提出者	
住 所 宮崎県小林市細野391-1	
氏 名 株式会社 坂下組 代表取締役社長 坂下 利一郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0984-23-3333	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 坂下組
事業場の所在地	宮崎県小林市細野391番地1
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業 総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 78億
③ 従業員数	102人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	排 出 量	- t	t
	（これまでに実施した取組） 受注工事の内容により、アスファルト塊やコンクリート塊等の発生量は大きく変動するが、各作業所において適切な分別を徹底し、産業廃棄物収集運搬業および処分業の許可を有する業者へ適正に処理を委託した。また、材料の過剰発注による廃棄物発生を抑制するため、必要数量を精査したうえで発注を行い、材料ロス削減に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	排 出 量	- t	t
	（今後実施する予定の取組） 昨年度同様、工事により発生する産業廃棄物については適切な分別を徹底し、産業廃棄物収集運搬業および処分業の許可を有する業者へ適正に委託し、運搬・処分を実施いたします。また、材料の過剰発注による廃棄物発生を抑制するため、必要数量を十分に精査したうえで発注を行い、引き続き産業廃棄物の発生抑制に努めてまいります。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：アスファルト塊、コンクリート塊、廃プラ、木くず、繊維くず、がれき類 取組：各作業所において産業廃棄物の種類ごとに分別を徹底し、発生時に直接処理施設へ搬出するほか、一時保管が必要な場合は分別したうえで適切に仮置きを実施した。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 種類：アスファルト塊、コンクリート塊、廃プラ、木くず、繊維くず、がれき類 取組：引き続き産業廃棄物の種類ごとの分別を徹底し、適正な保管および処理を実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のと おり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物の分別を徹底し、適正な委託処理を実施した。 ・許可業者との委託契約及びマニフェスト管理を適正に実施した。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	処理計画書集計表のとおり	
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・ 優良認定処理業者を優先的に選定し委託する。 ・ 委託先処理業者の許可状況を定期的に確認する。 ・ 再資源化を推進し、最終処分量の削減に努める。		
		※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【産業廃棄物処理計画書 集計表】 別紙

事業者名：株式会社 坂下組 計画期間：令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

産業廃棄物の種類	前年度優良認定処理業者排出量(t)	前年度再生利用業者排出量(t)	前年度排出量(t)	今年度優良認定処理業者排出予定量(t)	今年度再生利用業者排出予定量(t)	今年度排出予定量(t)
アスファルト・コンクリート塊	0.0 t	400.2 t	400.2 t	36.0 t	324.0 t	360.0 t
コンクリート塊	72.0 t	684.0 t	756.0 t	68.0 t	612.0 t	680.0 t
がれき類	6.1 t	151.3 t	157.4 t	14.0 t	127.0 t	141.0 t
木くず	64.9 t	152.5 t	217.4 t	68.0 t	128.0 t	196.0 t
廃プラスチック類	6.4 t	10.4 t	16.8 t	7.0 t	8.0 t	15.0 t
金属くず						
紙くず	0.0 t	24 t	24 t	2.0 t	0.0 t	2.0 t
繊維くず						
石膏ボード	0.0 t	73.5 t	73.5 t	0.0 t	66.0 t	66.0 t

産業廃棄物の種類	前年度優良認定処理業者排出量(t)	前年度再生利用業者排出量(t)	前年度排出量(t)	今年度優良認定処理業者排出予定量(t)	今年度再生利用業者排出予定量(t)	今年度排出予定量(t)
建設混合廃棄物	0.0 t	155.4 t	155.4 t	14.0 t	126.0 t	140.0 t
建設汚泥	0.0 t	1044.7 t	1044.7 t	0.0 t	300.0 t	300.0 t
合計	149.4 t	2674.4 t	2823.8 t	209.0 t	1691.0 t	1900.0 t

【集計方法】

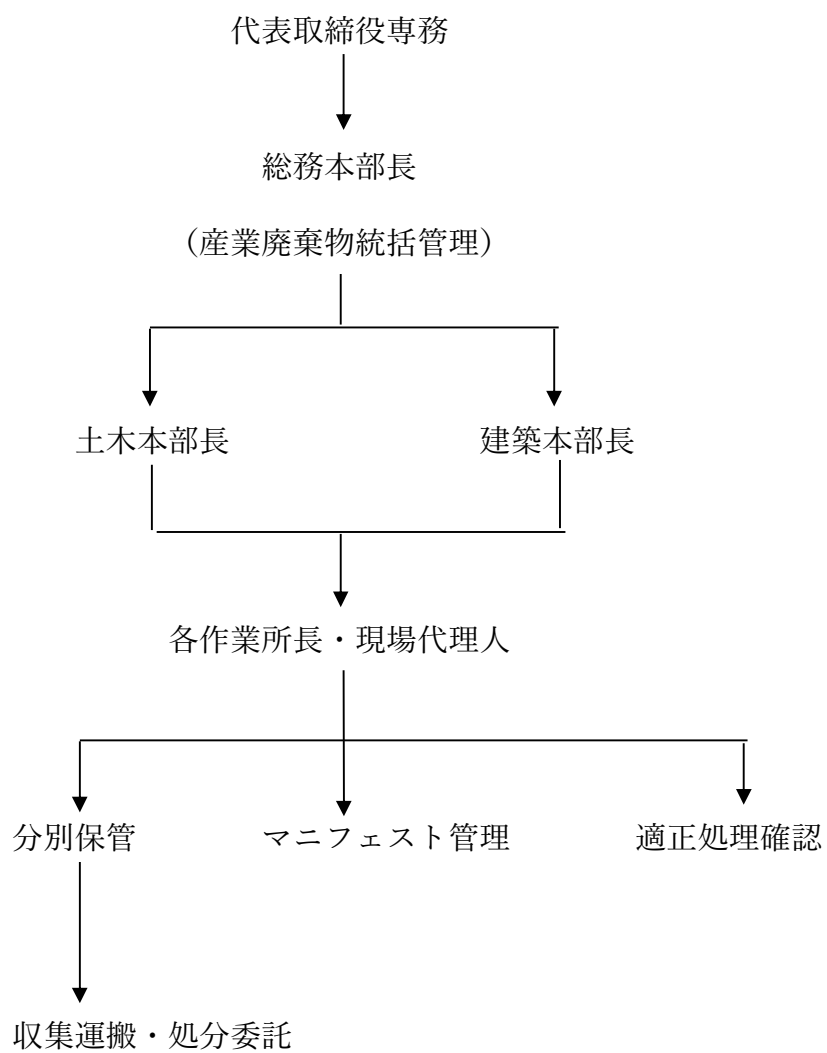
前年度排出量＝マニフェスト交付数量実績

今年度排出予定量＝前年度実績＋受注見込工事を考慮

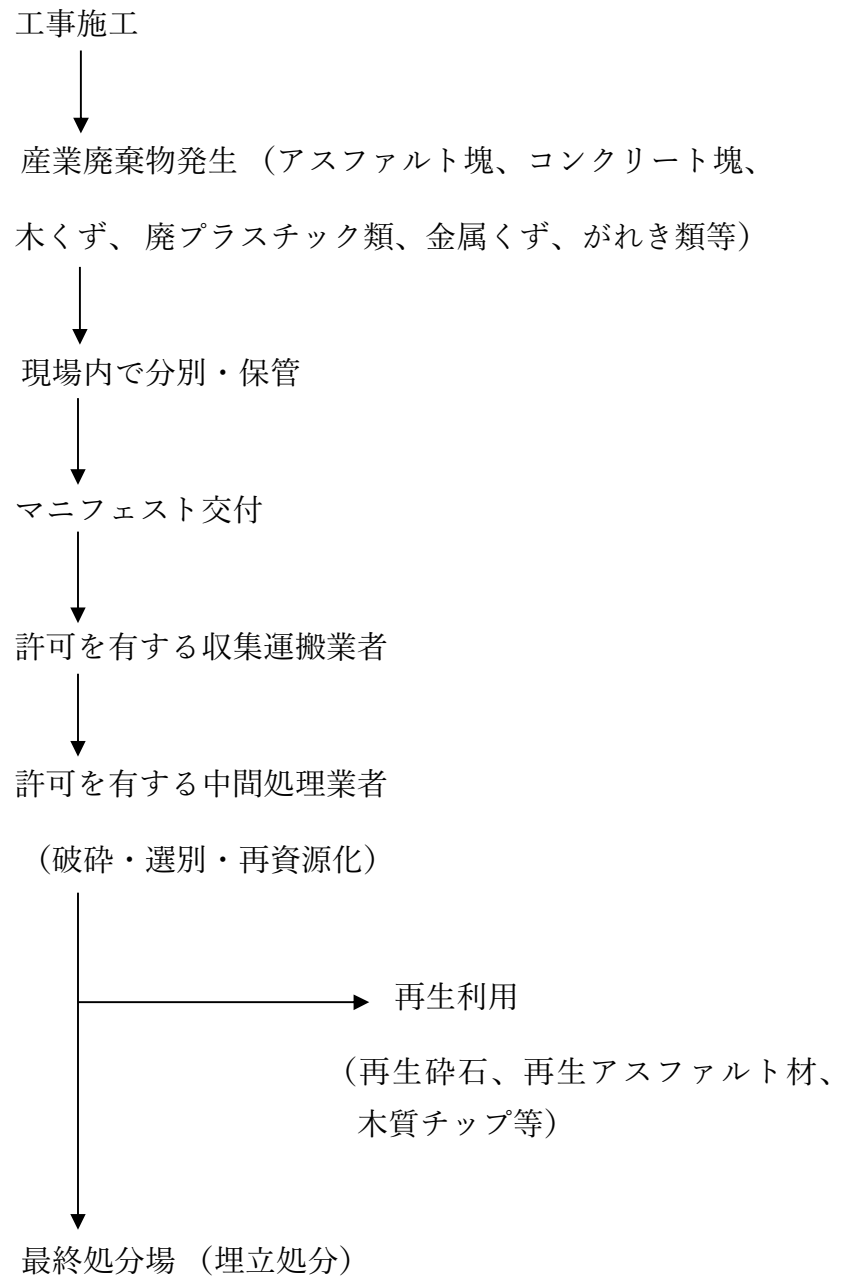
別紙

産業廃棄物管理体制図及び処理フロー

【産業廃棄物管理体制図】



【産業廃棄物処理フロー】



【産業廃棄物管理方針】

1. 関係法令及び条例を遵守し、適正処理を徹底する。
2. 産業廃棄物の分別を徹底し、再資源化を推進する。
3. 材料の適正発注により廃棄物の発生抑制に努める。
4. 委託業者の許可状況を定期的に確認し、適正な処理を確保する。
5. マニフェスト管理を徹底し、処理状況を適切に把握する。